

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社グループは2019年3月末をもって第123期を終了いたしましたので、ご挨拶を兼ねて決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別内容などについても併せてご報告申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。



2019年6月
代表取締役社長 **ひろ ち あつし**
廣 地 厚

..... CAN20計画第2フェーズをスピードを上げて強力に展開します

◆当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善等を背景に全体としては緩やかな回復基調にあるものの、相次ぐ自然災害による消費者マインドの低下、食料品や生活必需品の物価上昇懸念に加えて、米中間の貿易摩擦、新興国等の海外経済の不確実性などにより、先行き不透明な経営環境が続きました。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ(2017年度～2020年度)」の2年目を迎え、『集中と結集』をキーコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、プラスチックフィルム分野及びエンジニアリングプラスチックス分野を中心に好調に推移しました。アパレル事業は、消費者の節約志向と天候影響を受ける中、インナーウェア差別化商品の拡販と成長販路への取り組みを強化しましたが、レグウェアが苦戦しました。

◆今後の見通し

わが国経済は、国の各種政策の効果もあり雇用環境に改善傾向が見られ、緩やかな回復基調が続くものの、不安定な国際情勢や食料品・生活必需品などの物価上昇、消費税増税等による景気の下振れ懸念もあり、個人消費は節約志向が依然として根強く、当社グループを取り巻く経営環境は依然断崖を許さない状況が継続すると予想されます。

このような環境のなか、2019年度は中期経営計画

「CAN20計画第2フェーズ」の3年目にあたり、設定した目標の達成に向かって、事業ごとの重点戦略課題を明確化し、力強く活動を進めてまいります。

機能ソリューション事業では、プラスチックフィルム分野は業績が拡大しているなか、新市場・新商品の開発とベトナム新工場を立上げグローバル生産体制を更に強化してまいります。エンジニアリングプラスチックス分野は、主力OA市場向け商品及び半導体関連等繊維技術製品の拡大のため、江南工場の増設を計画しております。メディカル分野は、新たに株式会社メディカルユアードエイを子会社化し骨接合材等の拡大を目指してまいります。

アパレル事業では、インナーウェア分野は、BODY WILD [AIRZ] の展開店舗拡大に加え、完全無縫製・カットオフ商品、スポーツカテゴリー商品を拡販するとともにEC等の新規販路の拡大を図ってまいります。レグウェア分野は、サブリーナ等の主力ブランドを核とし、市場トレンドと消費者潜在ニーズを先取りした新市場・新商品開発に努めてまいります。

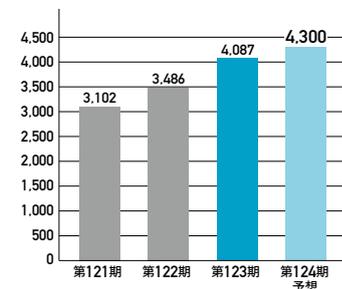
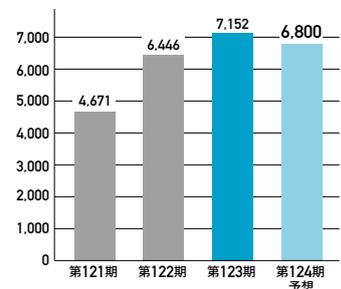
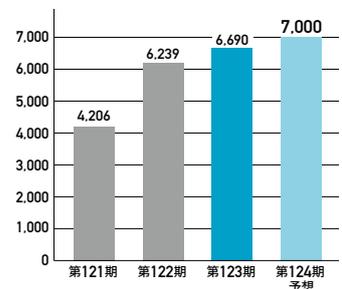
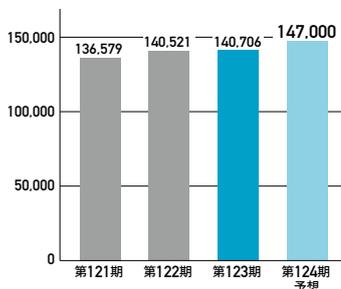
ライフクリエイイト事業では、商業施設の収益力向上とグループの発展に向けて投資効率を考慮した保有資産の有効活用を推進してまいります。

当社は、これらの取り組みを通じて、「お客さまに“こころよさ”をお届けしていく」という強い意志を持ち、社会に貢献する企業を目指してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

決算ハイライト

● **売上高** 単位：百万円 ● **営業利益** 単位：百万円 ● **経常利益** 単位：百万円 ● **親会社株主に帰属する当期純利益** 単位：百万円



連結業績のご報告

連結貸借対照表(概要)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	72,769	73,030
固定資産	98,503	96,602
有形固定資産	64,853	66,483
無形固定資産	1,817	2,143
投資その他資産	31,832	27,975
資産合計	171,273	169,632
負債の部		
流動負債	38,760	36,669
固定負債	20,383	21,894
負債合計	59,143	58,563
純資産の部		
株主資本	108,579	109,583
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	13,942	6,754
利益剰余金	79,718	82,050
自己株式	△ 11,152	△ 5,293
その他の包括利益累計額合計	2,561	△ 76
新株予約権	281	260
非支配株主持分	706	1,301
純資産合計	112,129	111,068
負債および純資産合計	171,273	169,632

※「税効果会計に係る会計基準」の一部改正により、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

流動資産 前年同期比2億円増加

棚卸資産13億円の増加、前渡金等その他3億円の増加、現金及び預金13億円の減少、短期貸付金2億円の減少などにより、全体では2億円の増加になりました。

固定資産 前年同期比19億円減少

建物及び構築物(純額)20億円の増加、出資金等その他8億円の増加、投資有価証券46億円の減少などにより、全体では19億円の減少となりました。

流動負債 前年同期比20億円減少

未払法人税等10億円の増加、コマーシャルペーパーを含む借入金28億円の減少、為替予約等その他9億円の減少などにより、全体では20億円の減少となりました。

固定負債 前年同期比15億円増加

借入金10億円の増加、退職給付に係る負債2億円の増加、長期預り敷金保証金2億円の増加などにより、全体では15億円の増加となりました。

純資産 前年同期比10億円減少

親会社株主に帰属する当期純利益の計上40億円、その他有価証券評価差額金24億円の減少、配当金の支払16億円、自己株式の取得等12億円などにより、全体では10億円の減少となりました。

売上高 前年同期比0.1%増加

機能ソリューション事業で24億円の増収、アパレル事業で14億円の減収、ライフフリエイト事業で8億円の減収となり、全体では1億円の増収となりました。

営業利益 前年同期比7.2%増加

機能ソリューション事業で7億円の増益、アパレル事業で1億円の減益、ライフフリエイト事業で1億円の減益となり、全体では4億円の増益となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比24億円増加

税金等調整前当期純利益62億円、減価償却費65億円、棚卸資産の増加12億円などにより114億円の収入となり、前年同期比24億円の増加となりました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	140,521	140,706
売上総利益	39,972	40,893
販売費及び一般管理費	33,733	34,203
営業利益	6,239	6,690
営業外損益	207	462
経常利益	6,446	7,152
特別損益	△ 1,171	△ 856
税金等調整前当期純利益	5,275	6,295
親会社株主に帰属する当期純利益	3,486	4,087

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,007	11,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,954	△ 7,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,783	△ 5,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,364	△ 581
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 94	△ 1,946
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 98	571
現金及び現金同等物の期末残高	9,477	8,102

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行済株式総数 19,293,516株

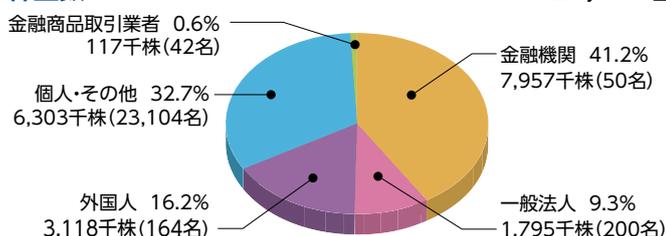
◎自己株式(2018年4月1日から2019年3月31日)

取得 261千株(1,686百万円)
処分 68千株(399百万円)
消却 1,700千株(7,146百万円)
期末 1,220千株(5,293百万円)

※自己株式には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」による取得等を含んでおります。

◎単元株式数：100株

株主数 23,560名



(注)円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

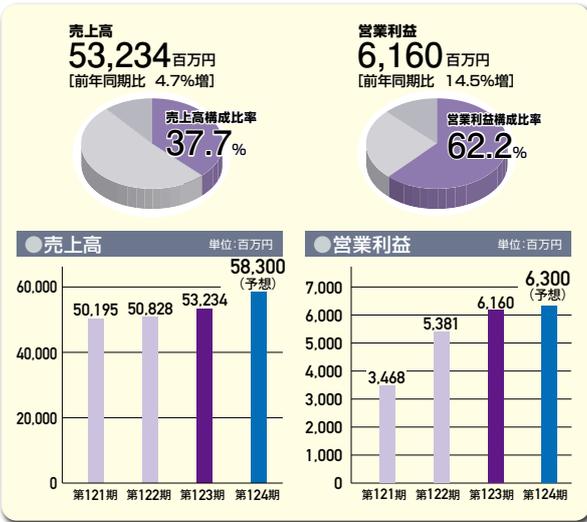
大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,647	20.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	817	4.51
株式会社三菱UFJ銀行	613	3.38
株式会社京都銀行	587	3.24
第一生命保険株式会社	414	2.28
全国共済農業協同組合連合会	383	2.12
グンゼグループ従業員持株会	321	1.77
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	314	1.74
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	306	1.69
GOVERNMENT OF NORWAY	289	1.60

(注)当社は、自己株式1,154千株(グンゼグループ従業員持株会専用信託の保有株数は除く)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

セグメント状況

機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルム分野は、主力のシュリンクフィルムが国内・海外ともに堅調であり、ナイロンフィルムも好調に推移しました。

エンジニアリングプラスチック分野は半導体市場向け、産業機器向けが引き続き好調に推移しました。

電子部品分野では、業務用タッチパネルは堅調に推移し、中国工場も採算性が改善しました。メディカル分野は、縫合補強材の国内新販売体制が順調に立ち上がり、人工皮膚も堅調に推移しましたが、治験費用等の増加影響を受けました。

〈プラスチックフィルム分野〉



アセアンエリアでの拡販を図るためベトナムに新会社を設立

〈エンジニアリングプラスチック分野〉



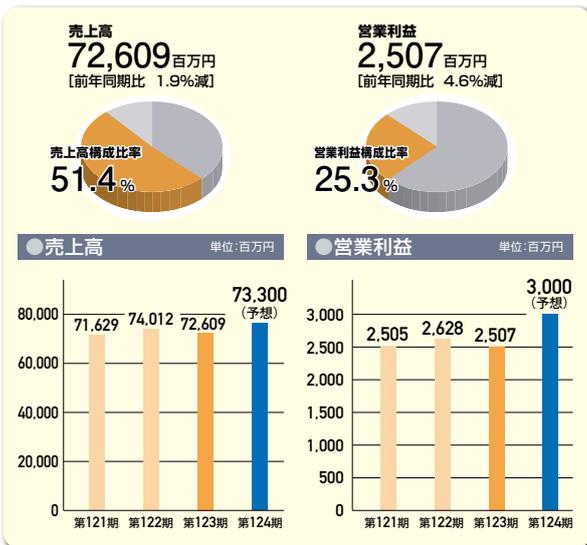
半導体製造用の超純水洗浄フィルター用資材

〈メディカル分野〉



手術後、体内に分解・吸収される縫合補強材「ネオパール」

アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

インナーウェア分野は、BODY WILD「AIRZ」などの差異化商品の新展開に加えて、カットオフ等の主力商品、スポーツカテゴリー商品が順調に推移しました。

レッグウェア分野はファッションボトムトレンドの変化や天候影響もあり、低調に推移しました。繊維資材は、海外事業環境変化による生産性悪化の影響を受けました。

〈インナーウェア分野〉



新感覚の次世代アンダーウェア BODY WILD「AIRZ」



素肌をメイクする新時代のブラジャー KIREILABO hada+

〈レッグウェア分野〉

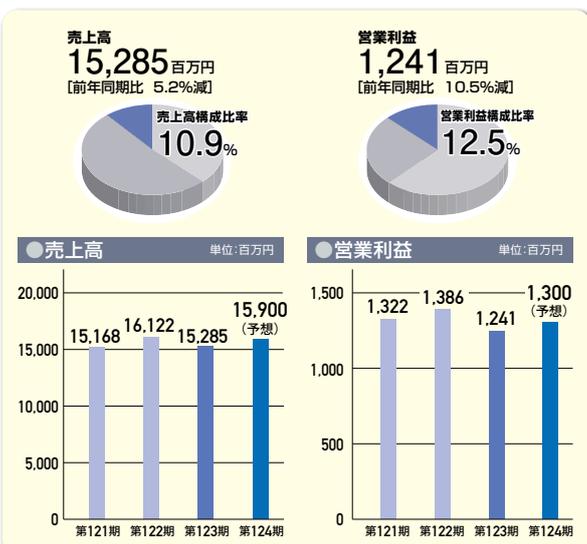


丈夫で脱げないフットカバー Tuché



やさしいはぎ心地のストッキング SABRINA

ライフクリエイト事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業は地域に密着した運営により堅調に推移し、また賃貸事業では新規物件が貢献しました。スポーツクラブ分野は、競争激化により苦戦しました。

〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンターつかしん (兵庫県 尼崎市)



ラヴィエール永福町 (賃貸物件) (東京都杉並区)

〈スポーツクラブ分野〉



グンゼスポーツピエラ明舞 (兵庫県神戸市)



グンゼスポーツクラブは全国22店舗で展開しています。

株主優待について

年2回
毎年9月末・3月末

通販カタログ商品の

**30%
割引優待**

※カタログはイメージです



9月末/中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を贈呈
ご希望の商品と交換いただけます。

贈呈商品

贈呈商品の中から優待額
の範囲内で好きな商品と交換

商品クーポン

GUNZE STORE
(グンゼ公式通販)でお買
物にご利用いただける
クーポンを発行

寄付

優待額1,000円を1口
として、子供の未来応
援基金へ寄付

※2018年度 子供の未来応援基金への寄付金額は、856,000円でした。

保有株数	株式保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100~299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

取締役、監査役、執行役員、主な連結子会社 (2019年6月25日現在)

取締役、監査役

代表取締役社長兼社長執行役員

代表取締役兼常務執行役員 経営戦略部長

取締役(社外)

取締役(社外)

取締役兼執行役員 グンゼ開発(株)代表取締役社長

取締役兼執行役員 繊維資材事業部長

取締役兼執行役員 エンブラ事業部長

取締役兼執行役員 アパレルカンパニー長

取締役兼執行役員 研究開発部長

取締役兼執行役員 財務経理部長

監査役(常勤)

監査役(社外)

監査役(社外)

監査役

廣地 厚

佐口 敏康

中井 洋恵

鯨岡 修

赤瀬 康宏

岡 修也

木村 克彦

阿武 克也

及川 克彦

熊田 誠

水沼 洋

井上 圭吾

鈴鹿 良夫

溝口 克彦

執行役員 取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

執行役員 メディカル事業部長

執行役員 アパレルカンパニーインナーウエア事業本部長

執行役員 アパレルカンパニーレグウエア事業本部長

執行役員 プラスチックカンパニー長

執行役員 メカトロ事業部長

執行役員 (株)ライオン代表取締役社長

森田真一郎

荒木 敬太

中野 努

岡 高広

佐保 一成

高山 克巳

主な連結子会社

(国内)

福島プラスチック(株)

グンゼ包装システム(株)

グンゼ高分子(株)

東北グンゼ(株)

九州グンゼ(株)

グンゼ物流(株)

(株)ジーンズ・カジュアルダン

グンゼ開発(株)

(株)つかしんタウンクリエイト

グンゼスポーツ(株)

グンゼグリーン(株)

(海外)

Gunze Plastics&Engineering Corporation of America

上海郡是新塑材有限公司

Guan Zhi Holdings Ltd.

山東冠世針織有限公司

Gunze(Vietnam)Co.,Ltd.

上海郡是通虹纖維有限公司

P.T. Gunze Indonesia

(米国)

(中国)

(香港)

(中国)

(ベトナム)

(中国)

(インドネシア)

会社の概況 (2019年3月31日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	1896年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	1,703名(単体) 6,607名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田二丁目5番25号 (ハービスOSAKAオフィスタワー) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋二丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主総会・期末配当金基準日	3月31日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京(第1部)
証券コード	3002
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料)